

COMMUNICATION

Pickup社員



株式会社吉本興業
ポータルハートサービス事業部
河内七彩



CONTENTS

- ◆ 社内報発行20回記念
- ◆ お客様紹介 積水ハウス株式会社様
- ◆ 廃棄物法令レポート
- ◆ 第3回エコフェスin中特グループ
- ◆ お片づけ川柳コンテスト
- ◆ 中特グループ部門紹介 / クイズコーナー

ごあいさつ

中特グループ副代表 橋本ふくみ

みなさん、お楽しみ様です！

この社内報が皆様の手元に届く頃には、8月も終わっていることでしょう。

我が社は7月が決算、8月が新年度のスタートです。

ということ、今（6月）来期の目標を立てているところですが、すでに1ヶ月が経過していることになりました。きつと良いスタートが切れていますね。ワクワク想像しています。

さて、この度私は皆さんに、2021年7月をゴールとする経営未来地図を発表しました。

従来の物をより分かりやすく表現し、私なりにより皆さんに伝わるよう描いたつもりですが、いかがでしょうか。基本方針書の中には、中特グループの経営方針が詳細に書かれています。そこには今現在私が考え得るすべてを書き込んでいます。

この方針書は中特グループの憲法とも言えるものです。中特グループに所属するすべての皆さんはこの方針書を十分理解し行動して下さい。この方針書に沿って心をつにし、全社一丸となつて、目的達成のためのご協力をよろし

くお願い致します。

最後に、二宮尊徳翁の夜話より、「天道と人道」について書かれたものをご紹介します。紹介して私のご挨拶とさせていただきます。

この世のことはぐるぐる回って止むことはない。

寒さが去れば暑くなる。

暑さが去れば寒さがやってくる。

夜が明ければ昼となり、昼が過ぎれば夜となる。

万物は生ずれば滅び、滅べばまた生ずる。

金をやれば品物が来、品物をやれば金が来るのと同じだ。

田畑でも海山でも皆そのとおりにんだ。

山に住んでいる人々が薪をたいて減るぐらいは山林で育っていく。

ここで食い減らすぐらいの穀物は田畑で生育していく。

野菜だって魚類だって、世の中で減るだけには、田畑河海山林で生育し、生まれ

た子は次第に年をとり、築いた堤は時々刻々に崩れ、掘った堀は日々に埋まり、

葺いた屋根は刻々に腐っていく。

これは大自然そのものの法則であつて、つまり「天道」というものなんだよ。ところが、「人道」というのはこれと違つてるんだ。

なぜなら風雨はきまりなくおとずれ、寒暑が去来するこの世界の中で、羽毛もなく鱗や殻もなく、裸のまま生まれてきた人間は、家がなければ雨のとき困り、衣服がなければ寒暑暑さを凌げない。

そこで「人道」というものをつくつて、米を善とし、雑草を悪とし、家をつくるのを善とし、こわすのを悪とした。これはすべて、人が生きていくためにつくつた道なんだ。

だから人道というんだよ。天理からみるなら、すべて善も悪もない。その証拠には、天理のままにしておけばみんな荒地となって原始の昔にかえつてしまう。

なぜなら、それが天理自然の道だからだ。

このように天には善悪がないから、稲と雑草の区別をしない。

種のあるものはみな生育させ、生氣あるものはみな発生させる。

人道というのは天道にしたがうけれど、その中で善と悪と分け、稗や莠を悪とし、人の食べる米や麦は善とする。

つまり、人々にとって役立つものを善とし、

役立たぬものを悪とする。



そこに人道と天道の違いが出てくるんだ。なぜなら人道は人がつくつたものだからさ。

たとえばみれば、人道というのは料理物のようで、長い人間の歴史の中で、歴代のすぐれた君主や賢い家来たちが、料理し、味付けして、自然のままではなく、人生に役立つように工夫してつくつたものなんだ。

だから人道というのは、ほおっておくと自然状態に戻つていってしまう。

そこで政治を行い、教えを立て、刑法を定め、礼法をつくり、やかましく、うるさく世話をやくようにして、ようやく人道を成り立たせているんだよ。

だから人道を天然自然の道のように思うのは大きな誤りだ。

そこんとことをよく考えてみるのだな。



「環境 人づくり企業大賞」とは、「環境人材育成の一層の促進を図ることを目的として、自社員を対象として優良な環境人材育成の取組を行う企業を表彰する」とされており、このた

このたび、中特グループを代表して株式会社中特ホールディングスが、環境省より「環境 人づくり企業大賞 2015」において『大賞』を受賞しました。

び当社が中特グループを代表して「大賞」を受賞したものです。

当社は、

- ・グループ全社員を対象とする独自の「中特アカデミー」という単位制の講座を開講し、環境関連企業の社員としての人間性向上にまで踏み込んだ教育を行っている。
- ・社員が企画と講師を担当しており、受講者側、講師側の双方の立場から学びを深められる取組となっている。
- ・地域に密着したさまざまな環境・社会活動を実施する中で、社員の研鑽を図っている。

以上の評価をいただきました。

前期より始まりました「中特アカデミー」は、必須科目と選択科目で構成されます。必須科目は、理念教育や廃棄物処



理関連法務、マナー研修、習慣形成トレーニングなど社長や顧問が講師となり、全社員を対象して実施。選択科目は各部門主催の「社員による社員のための研修会」。

「中特アカデミー」は始まったばかり、今後も科目や内容も充実させながら、毎年継続していきます。社員一人一人が日々さらなる成長をし、『全社一丸』となってお客様に信頼される中特グループを目指して参りましょう。

「環境 人づくり企業大賞2015」大賞を受賞しました

熊本災害支援活動報告

今回の私の業務は、地震で被災した地への災害支援を行うことでした。

業務内容は、地震で損傷した下水道管路の調査でした。

私が行った場所は、熊本県上益城郡益城町でした。ニュースで現場の状況を見ていましたが実際に見てみると胸が痛くなるような光景が広がっていました。

多くの家屋は一階が潰れ、かろうじて二階が残っているような状況でした。道路は陥没し、マンホールが突き出し、それを砂利で埋めているため道路はデコボコになっていました。

そんな中で二週間の災害支援活動も終わり、私の心には今後いろいろな形で支援していこうと思えました。

熊本の被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興を願っています。

中国特殊(株)エコ事業部 山縣 大輔



『廃棄物法令レポート』

Report

処理・リサイクルへの姿勢

産業廃棄物処理業者による食品廃棄物の不正転売事件は、関係者が詐欺容疑等で逮捕され、ようやく終息の兆しを見せ始めています。この事件は、処理業者にとっては自爆テロにも等しい愚行であり、今後同様の事件が再び起きる可能性はほとんど無いと思われず。その意味では、極めて特殊な犯罪であり、まっとうな人間であればまず手を染めないであろう違法な取引でしたが、それまで意識されることが少なかった、排出事業者と処理業者の間にある普遍的な問題を顕在化させた面もあります。

その問題とは、「廃棄物処理・リサイクル」に対する両者の姿勢の問題です。まず、排出事業者の場合、廃棄物処理の委託を単なる外注行為としてとらえがちで、目の前から廃棄物が消えさえすれば、それで問題がすべて雲散霧消したような気になります。しかし、廃棄物処理法第11条では、

「事業者は、その産業廃棄物を自ら処理しなければならない。」と定められているように、適正な処理が終わるまでは、処理責任を果たしたことはなりません。ここが、一般的な取引行為である外注ともっとも異なる点です。「自ら処理」が原則であるため、産業廃棄物処理業者には、自社の代わりに産業廃棄物を処理してもらっている、言い換えるならば、「産業廃棄物の加工委託」をしているのと同様なのです。通常の加工委託の場合、完成品の品質を問わず、検品をせずに加工料を支払うということは有り得ません。

産業廃棄物処理の場合も、それと同様の真摯な姿勢で、委託先処理業者の仕事の質を常に確かめる必要があります。もちろん、産業廃棄物処理委託の場合は検品をするわけにもいきませんので、検品の代わりに、処理状況確認等の処理業者とのコミュニケーションが不可欠となります。

残りは処理業者の姿勢についてですが、「プロフェッショナルとして、従来から廃棄物処理・リサイクルには真摯に取り組んでいる」と、反論したくなる人が多いと思いますが、ここでいう「姿勢」とは、日々の操業態度ではなく、加工受託者、あるいはリサイクル品の製造者としての姿勢を指します。法律上は、最終処分終了報告はマニフェストの写しで行うだけで良いとされていますが、現行のマニフェスト制度では処理終了年月日の日付しか報告されない仕組みとなっているため、本当に処分が行われたかどうかは、実際には、最終処分業者以外にはわからないのです。少なくとも、廃棄物からリサイクル品を製造している処理業者は、マニフェスト写しの返

送だけではなく、毎月ごとの受託量や、リサイクル品の製造量、最終処分量、主な販売先等の情報をまとめ、リサイクル品の原材料仕入れ先である顧客に対し、情報提供を行うべきと考えています。万が一、他社の不法投棄に巻き込まれた場合、こうした情報を自主的に作成しているかどうかで、警察・行政の心証を大きく変わる可能性もあります。

中特グループの皆さんも、製造者の一員としての自分の役割を意識してみると、日々の仕事に再発見があると思います。



行政書士エース環境法務事務所代表
行政書士 尾上雅典先生

中特グループ法務顧問。許認可申請の代行といった単なる行政書士業務に止まらず、廃棄物処理企業の経営基盤確立のため、従業員教育、法務相談など、廃棄物処理企業に特化したサービスを提供されている。

その他、業界誌への寄稿、排出事業者向けのセミナー・講演、廃棄物管理状況の監査など、廃棄物処理企業以外に関係者にも廃棄物の適切な処理を進めていただくべく、精力的に啓発・教育活動も展開中。

Visitor Introduction

～ お客様紹介 ～



積水ハウス株式会社 様

徳山支店



積水ハウス株式会社は、1960年の創業以来、住まいに特化した事業を展開し、住宅産業をリードしてきました。戸建住宅や賃貸住宅の建築、分譲住宅、マンション、リフォーム、不動産、都市再開発、国際事業などの事業を拡大しています。

快適な暮らしを、先端の技術で実現するブランドビジョン「SLOW & SMART」のもと、社会課題解決と事業成長を両立するCSV経営を実践しています。

取り組みの一つが、ネット・ゼロ・エネルギーハウス(ZEH)に対応する「グリーンファースト ゼロ」の推進。温暖化防止への貢献に加えて、住まい手の快適な暮らしと健康長寿にもつながる「グリーンファースト ゼロ」の戸建住宅における比率を、2020年までに80%にすることを目標とし、ZEHの普及を図るとともに、既存住宅の省エネリノベーションにも注力しています。

また、新築やリフォームに伴う廃棄物の再資源化を推進しています。工場や全国の施工現場で分別した廃棄物を、自社施設の資源循環センターへ回収。100%の再資源化を行うゼロエミッションに取り組み、これを達成し維持しています。

228万戸の建築実績から得た経験と知恵を生かしながら、今後も暮らしに新たな価値を提供してまいります。

徳山 KRY 展示場



岩国メッセ展示場



Message 積水ハウス株式会社徳山支店／管理課

積水ハウス株式会社徳山支店の魚切と申します。産業廃棄物に関する業務に携わっており、中特グループ様には、解体工事に伴う建設廃棄物の処理をお願いしております。

中特グループ様は、「安心・安全な適正処理」「ゼロエミッショ

ン」を目指し、日々活動されています。これは私共が目指すビジョンにもリンクしており、これからもより良いパートナーとしてお付き合いさせて頂きたいと思っております。今後とも貴社のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

第3回 エコフェス in 中特グループ



平成28年6月25日、毎年恒例となりましたエコフェス in 中特グループが開催されました。今年で3回目となりエコライフプロジェクト行事として定着してきました。今年には昨年より100名増の230名ものお客様にご来場頂きました。私は第1回目の時から参加していますが、開催当日まで期待と緊張があるのは変わりませんでした。

当日は、リサイクル工作の担当として、来場して下さったお客様にペットボトルを使用した風車の制作を体験して頂きました。

毎年色々な行事をエコライフプロジェクトで経験してきました。今後もこの経験を活かして、来年、再来年にもっとたくさんのお客様に来場して頂き楽しんでもらえるように、このエコフェス in 中特グループをよりよく盛り上げていけるよう頑張っていきます。

中国特殊株
エコ事業部 伊東 明紀

第一回お片付け川柳コンテストの大賞が決定!!



大賞

石村 孝敏さん

とりあえず 旦那のものを
すててみる

得票数が多かった作品を紹介します

古い服 瘦せたら着れる
魔の呪文

掃除機の 後から孫が
種を撒き



中特グループでは「第一回お片付け川柳コンテスト」を開催しました。お客様に応募を募ったところ、たくさん川柳を頂きました。誠にありがとうございます。

ご応募いただいた川柳は、中特グループ主催のイベント「エコフェス」にて掲示！

掲示された川柳は「エコフェス」にお越しただいた皆様へ一人一票ずつ投票をして頂きました。

その中で最も得票数が多く、大賞の座に輝いたのは……!!

周南市在住の石村孝敏さんの作品『とりあえず 旦那のものをすててみる』でした！

大賞川柳を応募して下さった石村さんには、表彰状とQUOカードを進呈。

大賞をはじめ、クスツと笑える川柳が数多くありました！

実際にご家庭のお片付けをされる際も、ユーモアを持って行くと捗るかもしれませんね……!!

この人に聞く！



中特グループを長く支えてくださっているベテラン社員さんを紹介するコーナー「この人に聞く！」の第7弾です。

大山 隆さん

今回はグループのイケメン担当、中国特殊(株)エコ事業部HOSグループリーダーの大山隆さんにインタビューしました。

Q1.入社されて何年ですか？

早くも18年経ちました。入社したのは23才の時だから今年で42才です。あっという間でした。

(入社のきっかけは?)

以前、中国特殊に勤めていた方に声をかけてもらったのが入社のきっかけです。

Q2.現在の業務は？

浄化槽の管理、排水管の詰まり、排水管清掃、ポータルハートサービスでお客様のお困りごとの対応をさせて頂いています。

(みなさん、このイケメンを見かけたらぜひ声をかけてあげてくださいね(笑))



Q3.昔と今では…

環境、仲間など取り巻く全てが変わりましたね～。インフラも整備されて浄化槽や汲取りが減ってきているので危機感でいっぱいです。どうやってお客様のお困りごとに一歩でも近付けるか日々模索しています。

Q4.今までに一番印象に残った作業や珍事件はありましたか？

以前、下関の現場で脱水業務がありました。初めて現場の責任者として作業に行きましたが、経験のある作業でしたが頭として任されたというプレッシャーで思うように作業が進まず、大変な思いをしました。でも今ではそれもいい経験値になったと自信に繋がりました。(目がキラリ)

あとは、汲取りの作業時にホースが跳ねて体が弾き飛ばされました。怪我はありませんでしたが、ヒヤリとした一場面でしたね～(>_<)

それを教訓にホースの持ち方を工夫して今ではヒヤリとする場面もなくなりました。

Q5.長い間、今の仕事が続けられた秘訣は？

環境にも優しいし、自分でも手先が器用だと思うので合ってい

た職業なんじゃないかなあとと思います。お客様と直接コミュニケーションが取れるし、今では知識も増え仕事がかかってきた分、楽しいし、お客様の所へ訪問し、作業した時に喜ばれる顔を見るとまた頑張ろうという気持ちになりますね(^^)

実際、浄化槽の認知度が低いのもっともっと浄化槽を知ってほしいですね～。実際、私もこの仕事に就くまで浄化槽って何?という状態でした(笑)

(確かに、浄化槽って何?って思っていました)

これから先も長い間、この仕事が続けられるのはお客様の笑顔に出会えるからだと思います♪

Q6.今、はまっている事やこれから先やりたい事は?何かカミングアウトすることなどありませんか(笑)?

ガーデニングが趣味で、たくさん花を植えていましたが、一歩進んで庭全体をいじっています。

(ぜひ、見学会を開いてください(^^) /)

未完成なので、まだ見せられませんよ～。もう少しお待ちください。

(他に何かありますか…?)

実は…手先が器用なのでブリザードフラワーを自分で作って母にプレゼントした事があります。

(スゴイ～!何て孝行イケメン息子!)

あとは、犬を飼っているので溺愛しています。名前は「ジャック」で、真っ白な柴犬なんです。

(ジャック君、かっこいい名前ですね～。散歩されている姿を見た事ありますよ)

「大草原の小さな家」を知っていますか?それに出ていた犬から名前を頂戴しました。

(懐かしい…昭和の人なら分かりますよね)

川に連れて行ったりしますが、あまり水が得意じゃないのか水に入ってもすぐ出てきてしまうんです。



Q7.最後に一言

目標、資格取得、勉強会など今の若手の人たちは知識を豊富に得られる機会が昔より多いと思います。せっかく得た知識を出さないもったいないのでぜひお客様へ伝えてこれから先、「作業をしたら帰る」だけではなくお客様のお困りごとをどんどん聞いて次へ繋げて行ってほしいです。

社員の皆さん!!

皆さんの周りの方で「お困りごと」を耳にした方はいらしゃいませんか? ちょっとした事から繋がりを広げていきましょう(^_^)v



(インタビュー: (株)中特ホールディングス総務管理部 轟本・坂本)



福岡県研修旅行記



6月9、10日に福岡県へ研修旅行に行ってきました。最初に訪れたのは、日産自動車九州工場で、工場内では機械が生き物のように動き回り、次々と新車が製造されていました。先端技術を使って最新型の車が作られている様子は圧巻でした。

続いては、リライフで受け入れた蛍光管の搬出先でもある株式会社ジェイ・リライフ様を訪問しました。蛍光管の中には微量ながら水銀が含まれていますが、そのほとんどが処理されずに埋立て処分されているという現状があります。その蛍光管をリサイクルすることによって水銀による環境汚染を防ぎ、循環型社会を構築するために事業を展開されています。リサイクルが社会にとって必要不可欠な事業であることを改めて実感することができました。

視察を終えた後は原鶴温泉で楽しい時間を過ごし、2日目には世界遺産に登録された万田抗、柳川下り、池亀酒造に行き観光を楽しみました。

入社2か月目での社員旅行で期待と少しの不安がありました。多くのことを学べ、社員の皆様とも交流ができてとても有意義な時間を過ごすことができました。これからの日常での業務も頑張っていこうと思います。

(株)吉本興業

ポータルハートサービス事業部

河内 七彩



活動報告 Topic

周南市晴海公園・埠頭清掃ボランティアに参加しました

3月19日(土)に晴海公園・埠頭にて行われた、瀬戸内海を美しくする会主催の清掃ボランティアに中特グループ社員も参加しました。

大量の草木があり、皆で協力してきれいにしました。



エコライフPJ主催地域清掃と中特グループ親睦会によるバーベキューを開催しました

4月2日(土)にエコライフPJ主催の地域清掃と本社駐車場にて中特グループ親睦会によるバーベキューを開

催しました。

地域清掃では社員の家族も一緒に約1時間、本社周辺の側溝や道路のゴミを拾い集めました。その後はバーベキューで大いに盛り上がりました。



カスタマーセミナーを開催しました

4月21日(木)に行政書士エース環境法務事務所代表 尾上雅典様をお招きしてカスタマーセミナーを開催いたしました。約50名のお客様にもご出席いただき、食品廃棄物横流し事件を題材に、廃棄物処理法の講義をしていただきました。



熊本に支援物資を送りました

4月22日(金)に社員全員で集めた支援物資を熊本に届けました。少しでも皆さんの力になりたいという思いでトラックへ積み込みました。一日も早い復興をお祈り申し上げます。



HappyHappy勉強会を開催しました

6月3日(金)にホテルサンルート徳山にて「第10回Happy:Happy:勉強会」を開催しました。

講師に、(社)アジア支援機構代表理事 池間哲郎様をお迎えして、演題「日本はなぜアジアの国々から愛されるのか」今、私達が学ぶべきこと」をご講演頂きました。

世界の恵まれない子供たちの現状や、テレビや学校では語られない第二次世界大戦での日本兵の姿を知ることができました。

下松市笠戸島はなぐり海岸清掃ボランティアを行いました

6月4日(土)に(株)リライフ主催で、下松市笠戸島はなぐり海岸のボランティア清掃を実施しました。海岸に捨てられているゴミや流れ着いた海藻を拾い、また草刈りも行いました。



グリーンカーテンを設置しました

6月10日(金)今年も中特グループではグリーンカーテンの設置をしました。これで、涼しく過ごせること間違いなしです!





《エコフェス》でバザーを開きました

6月25日(土)中特グループのイベント「エコフェス」でポータルハートトサービスマスター主催でバザーをしました。社員から寄せられた有休品やポータルハートサービスの社員が古着で作った子供の髪飾りやベビー用スタイなど約500点…。全て丁寧に包装して販売しました。どの商品も「安い!・かわいい!」とあつという間に売切れの大盛況でした。バザーの売上はすべて児童養護施設共済養育園へ寄付させて頂きました。



周南市給島海岸清掃ボランティアに参加しました

6月26日(日)に給島にて海岸清掃が行われ、中特グループ社員が参加しました。海岸のテトラポットの隙間に多くの家電やビン・缶などのごみが捨てられており、引き上げ・回収を行いました。



光市虹ヶ浜海水浴場清掃ボランティアに参加しました

7月3日(日)に一般社団法人山口県産業廃棄物協会主催の光市虹ヶ浜海水浴場清掃ボランティアに中特グループの社員が参加しました。

海岸に打ち上げられた海藻や木の枝、花火などのごみの回収を行いました。



周南市大津島刈尾海水浴場清掃ボランティアに参加しました

7月3日(日)に瀬戸内の海を美しくする会主催の大津島刈尾海水浴場清掃及び稚魚の放流に中特グループの社員が参加しました。

海岸に捨てられたごみを拾い、子供たちも稚魚の放流を行って、暑い中楽しみながらボランティア清掃に取り組んでいました。



「ぶちエコやまぐち」の取組が紹介されました

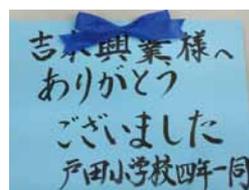
7月7日(木)リライフ下松工場に「ぶちエコやまぐち」のテレビ取材が行われました。

今、取り組んでいる「エコ」についての取材です。取材を受けたことで社員一人一人のエコに対する意識がより一層深まりました。



戸田小学校へ出前授業を行いました

7月7日(木)約1年ぶりとなる小学校での環境学習を行いました。今年初の出前授業は戸田小学校です。ペットボトルの積込体験などをして授業終了後に生徒のみなさんへ授業賞与をしました。後日、戸田小学校の生徒達からお手紙をもらいました。ありがとうございます!



ポータルハートサービスの営業車にロゴが入りました

7月11日(月)吉本興業ポータルハートサービスの営業車両にロゴマークが入りました。

主に女性社員が使用する車です。この車でお見送りなどにお伺いしたり、少量の廃棄物でしたら回収も可能です。





(株)中特ホールディングス
CS営業部
武居 浩

私の趣味は魚釣りです。一時期は魚釣りをやめていましたが過去をさかのぼると10年以上、チヌ釣り、グレ釣りにどっぷりはまっています。今では色々な魚種を釣るのが楽しみです。

毎週のように休日は魚釣りに出掛けています。家族とも足を運ぶ事もあります。

ここ最近では釣りガールと言って、女の子達も釣りをしている時代がきているようです。昔は男の人が、おじさんと言われる時代がありました。今は違いたいですよ。

釣りには不思議な魅力があるようで、軽い気持ちで足を踏み入れたはずが意外とはまってしまつことも多いとか。今まで機会がなかったという人もこれを機に始めてみては



いかかがでしょうか？新しい世界が開けるかもしれませんよ。(笑)
それより、自分で釣った新鮮な魚を食べると美味しいですよ。

是非、皆様もチャレンジしてみてください。



先日、海のクリーンアップ活動に参加して参りました。残念な事に未だゴミがゼロになる事はありません。特に目立つのは、近年問題になっているマイクロプラスチックの原因ともされているプラスチック系のゴミ。そのままでは決して自然に還る事のないゴミです。

ちょっとした軽い気持ちのポイ捨てが、この様に地球環境を汚染してしまうのですが、残念ながら小さなゴミの場合は、不法投棄の場合とは異なり罪を犯しているという意識が希薄なのが実情です。いくら公費を投入し自然環境を保護しようとしても、個人の意識そのものが変わらない限りゴミはゼロにはなりません。

個人の意識を変えるには幼い頃から家庭で教育を徹底するしかないのです。ポイ捨てだけに限らない「社会の秩序を守る」教育、これに尽きます。私の友人は我が子がまだ幼い頃、アイスの棒をポイ捨てしたとして、そのゴミを拾いに行かせたそうです。その友人は我が子が泣きながら探す姿に心を鬼にして後ろから見守っていたそうです。27歳の大人になった今でも、彼はその時の事を鮮烈に覚えていると言います。間違いなく彼は二度とポイ捨てはしない事でしょう。

「子は親の鏡」にもある様に子どもたちは、親の、大人の姿を見て成長していくのです。しっかり襟を正していかなければならないと、強く感じる今日この頃です。



「子は親の鏡」...ドロシー・ロー・ノルト(米国の教育学者)の詩

(株)吉本興業 代表取締役 吉本妙子

編集後記

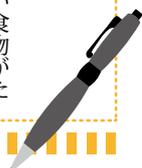
まだまだ毎日暑いですね!!皆さん、自分の体をいたわっていますか?おいしい食物がたくさん実る秋。たっぷり栄養を取って復活して下さいね。

今回のコミュニケーションは記念すべき【Vol.20】です。(パチパチ)古いコミュニケーションを見て「中特グループ」も大きく変わったなとつくづく思う今日この頃です。

社員の皆さん!自分の足元をしっかりと固めて中特グループ社員一丸となって変化の立役者の一人になりましょう!!

次号のコミュニケーションは来年(平成29年)2月の発行を予定しております。お楽しみに...

社内報を作成するにあたって、お忙しいなか取材にご協力くださいました皆様に感謝いたします。(福本)



中特グループ 部門紹介



中国特殊株式会社 エコ事業部 eクリーニンググループ

エコ事業部eクリーニンググループは下水道の維持管理業務、道路の維持管理業務、土木工事・解体工事、産業廃棄物収集運搬業務など多岐に渡るサービスを展開しているグループです。



解体工事はじめました!!

eクリーニンググループでは新規事業として解体事業に着手しています。保有資格・許可・設備を強みに、解体～廃棄物の運搬・処理を一貫して中特グループが行います。まずはご相談から承ります。



クイズコーナー!!



みなさん!一般的に、**ご家庭で一人が所有している物の個数ってどれくらい**あると思いますか?

次の中から「正解だ!」と思う番号を選んでください。
どれも多様な気もしますが、いったい何個でしょうか?
趣味を持っていらっしゃる方は更に多くなるんですよ
やっぱり、日頃のお片付けが大事ですね

どのくらいあるのでしょうか?

- ① 約500個
- ② 約1,000個
- ③ 約1,500個

正解者の中から5名様に「イオン商品券500円分」をプレゼント★ 皆さん、ふるってご応募下さい。

官製ハガキに、住所・氏名・電話番号・「中特グループへの一言メッセージ」をご記入の上、〒745-0801 周南市大字久米3078-1(株)中特ホールディングス クイズコーナー係 までご郵送ください。お待ちしております!
※10月31日消印有効です。※正解は中特グループHPにてご確認ください。※お客様より頂いた個人情報他は他の目的には一切使用しません。